

2-2 リーダー育成・確保に積極的に取り組んでいる組織

たかぎせ ふたまた

高木瀬町二俣環境保全会（佐賀市）

- 本地域は、佐賀市の東部に位置しており、平坦部の水田地帯である。
- 非農業者を取り込んだ地域ぐるみの活動が特徴であり、婦人会が行う植栽や春夏に行う自治会が中心の農地維持活動などそれぞれの役割分担も出来ている。
- 役員の高齢化を見据えて、ブログによる情報発信や活動への積極的な参加など、早くから次世代を担う構成員の活躍がみられる組織である。

【地区概要】

- ・取組面積 26.7 ha
（田：26.2 ha、畑：0.5 ha）
- ・資源量
開水路：5.6 km、パイプライン：1.5 km、
農道：3.4 km
- ・主な構成員
農業者、非農業者、自治会、婦人会 他
- ・交付金 1,271,388円（H27）

農地維持支払及び資源向上支払（共同）1,271,388円

活動開始前の状況や 取組を開始するきっかけ

- 制度が始まる以前は、生産組合を中心に農業者のみで春夏の公役など集落単位で行っていた。
- 制度が始まり、三夜待（各年代別の集まり）や自治会、消防団など非農家を交えた交流により組織としての結束が固まってきた。
- 制度前は自費で行っていた活動も、交付金を活用し、重機やダンプのリース代にできる為、作業の効率化も図れるようになった。



主な取組内容

- 春夏の公役(5月・8月)
地区の行事予定に組み込まれており、若い人も率先して参加している。
- 植栽・ゴミ拾い(毎月1日・15日)
婦人会が行ってる農道沿いの植栽や施設の点検、清掃活動。会長を中心に女性のみで活動をされている。
- 広報活動
ブログによる活動に関する情報発信。活動参加の呼び掛けなど。



取組の効果や現状、 今後について

- 集落をまとめてきた役員が高齢となったが、今でも率先して活動に参加されている。その姿を見てきた次の世代の若い構成員もやらなければならないという気持ちが自然と沸いてくる。地域を良くしていきたいという思いをみんなで共有している。
- ただ活動をするだけでは、個人が負担になってくるが、組織内で交流を深めることにより仲間意識が芽生え、楽しく活動することが出来ている。

